

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 4332
23年3月10日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

23春闘勝利へ向けて！ 非正規署名提出 郵政本社前集会を開催

1万4043筆を本社に提出



おはようございます。
3月3日、郵政で働く労働者の賃金引き上げと労働条件の改善を求めて、23春闘第一波行動として本社前集会がとりくまれました。非正規の組合員をはじめ、支援にかけつけた共闘団体など、全国から120名が結集し成功させました。

集会に先立ち、全国から寄せられた「非正規社員の均等待遇と正社員化を求める要請署名」1万4043筆を日巻委員長、吉田組織部長に加え、代表して3名の非正規労働社員が日本郵政本社に提出しました。

手渡す際に、組合員が一言ずつ思いを述べて、日本郵政の担当者に手渡しました。2009年のとりくみ開始から本日まで、累計で38万6660筆になりました。



全国共同会議が毎年実施している春闘アンケートでは、生活が苦しいという声が昨年を上回って寄せられています。資源高や円安の影響による生活必需品を含めた物価高騰を上回る大幅な賃上げが求められます。日本郵政グループは、春闘交渉の回答において、ベースアップ・年間一時金の要求に応えるだけの経営体力がないことを強調しています。正社員の夏期・冬期休暇の削減による労働条件の引き下げによって賃上

げの原資を生み出そうとすることは、労働組合として到底許されるものではありません。郵政ユニオンは、労働契約法20条最高裁判決を勝ち取った組合として、正社員と非正規社員の格差是正にとりくんでいます。労働者の権利を勝ち取るため、要求実現に向けてたたかきましょう。

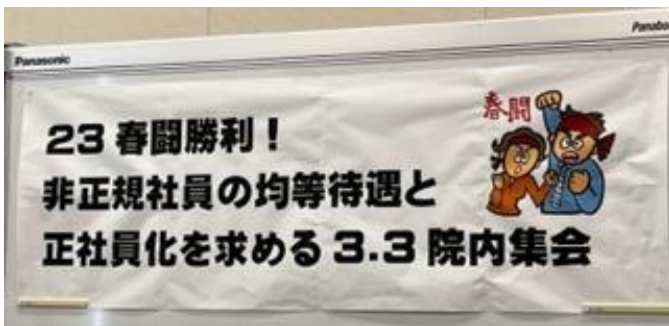


衆議院第一議員会館で
院内集会を開催

本社前集会後、「郵政リストラに反対し、労働運動の発展をめざす全国共同会議」は、非正規労働者の切実な声を国会議員に届けるための院内集会を開催。日本共産党の伊

藤岳参議院議員、宮本たけし衆議院議員が挨拶を行い、「現在郵政が抱える問題の抜本的な改善が必要である」との力強い言葉をいただきました。この集会では「全国一律最低賃金制度の法改正と最低賃金1500円以上をめざして」と題して、生協労連書記次長の渡辺利賀さんが講演。

その後の意見交換では、各地本から代表して参加した非正規組合員が職場の現状や問題点を述べました。九州地本からは佐田執行委員が非正規組合員の待遇改善への熱い思いを語りました。



期間雇用パート労働者の皆さん！ 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆげ、均等待遇、なげん差別。ユニオンは労働法裁判に勝利を！